

ごみゼロネット準備会（第5回）議事録

開催日： 2009年(H21年)1月26日(月)10:00～12:00

場所： ウエスト（新小金井駅前）

出席者： 平林、市原、大橋、加賀谷、伊藤、落井、星、武田、桐生（作成）

議題：

本日から、市の生涯学習課主催の「地域参加のための講座」で地域活動に関心を示された落井、星、武田のお三人をお迎えすることにした。ごみ問題に関心を持つ市民の輪を広げる良い機会になることを願う。

1. 「炭素化ごみ処理で温暖化ガスを減らそう」説明・討議

桐生より標記資料（4頁）を配布して説明した。主旨は次の通り。

- (1) 桐生も各種施設見学と討議を経て（加藤氏等と同じく）、炭素化処理がベストとの結論に達した。
- (2) 炭素化処理を推進するための決定的なセールスポイントとして、「炭素化ごみ処理で温暖化ガスを減らそう」が好適との結論に達した。関係者のご意見を賜りたい。
- (3) 炭素化処理装置の運転最適化、有害物質や環境ホルモン等のリスク検証のために東京農工大学の協力を仰ぎ、研究テーマとして取り上げてもらうように計らえないか。

2. 関連事項の討議

- 炭素化処理の利点として、更に以下のものを加えたい。(1) 焼却灰が出ない／(2) 不連続処理（燃やし放してなく、
需要に応じて運転・停止）ができる／(3)（ある時は携帯電話だけとか）用途別の最適処理が可能。
また、区部の東京一組の焼却炉のようにごみ量が不足して炉の連続運転に支障を来すのは「ごみゼロ化社会」を目指す社会として矛盾ではなかるか。（大橋）
- テクノプラントの見学会を早く実現してほしい。（大橋）
- ごみ処理もいろいろある。新杉田の高速発酵等も知っておいてほしい。ごみの種類と分別状態によってそれぞれ好適な処理方法がある。（平林）
- 「廃棄物減量推進審議会」の審議内容もごみ量を減らす方に話が行って、どう処理するかの方へ進まず、時間の無駄である。行政から過去データであるごみ量の減少は詳しく出てくるが、これからの9年間どう処理するかの
計画が全く出て来ず、危機感を持っている。（平林）
- 現在、小金井市のごみ処理費用は1ト10万円に昇り、世界一高いごみ処理費用といってよい（具体的な数値の
説
明あったが省略）。この費用を貰って炭素化処理の設備をメーカーに現物出資してもらい、市民から広く市民
フ
ァンドを募るPFI方式で実証プラントを運営することを考えている。大都市近郊型循環プロジェクトとして
推進したい。次回会議までに皆さまに資料を見て貰えるようにしたい。（平林）
- ごみ問題に関し、市民の力を結集することが必要だと思う。そのためには、市民の皆さんに炭素化処理等の新技
術についても知って貰うためのPRを行う必要がある。ごみゼロネットの開設もその一つであるが、パンフレ
ッ
トの配布等の直接的な告知手段も実行できないか。（伊藤）
- 我々もこの会に出るまで、このようなことを全く知らなかった。市民に告知することが必要だ。（落井 他）

3. ごみ問題関連講演会の紹介

- (1) 「めざせ環境都市」 2月7日 10:00～12:00 公民館／講師：東京都環境対策課 谷口信雄氏
- (2) 「ごみ焼却を考える（仮題）」 3月7日 10:00～12:00 公民館／講師：環境ジャーナリスト津川
敬氏

扱いは不明で、環境部に問合せ中。我々のテーマとの関連が深い。（伊藤）

- これらの講師は著名な専門家であるが、講演会そのものの知られている範囲が狭いため、出席者が少ない懼れがある。本日も出席の皆さまのご参加を勧めたい。（平林）

以

上

次回打合せ 日時： 2月16日（月） 10：00～12：00 / 場所：ウエスト
それまでの意見交換はメーリングリスト上で行う。